

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、グローバルにリスク回避の動きが進行したものの、引き続きブラジル国内の要因が材料視され、レアルは対ドルで買いがやや優勢の展開となり、3.95台後半で取引を終えた。市場では、ヒューストンで開催されたエネルギーカンファレンスにおいて原油減産の方針が示されるとの期待感が一部で高まっていたものの、サウジアラビア石油相が、「減産は不要」との見解を示した他、イラン石油相が先週合意された原油生産を1月水準で維持するとの案について、「不合理である」と発言したことから、原油先物は一転して下落に転じた。ポベスパ指数も原油関連株が主導する形で売りが優勢となり、前日比1.7%安で取引を終えた。ブラジル地理統計院が昨日公表した2月IPCA-15が前年比10.84%上昇と、約12年ぶりの高水準を記録するなど、ブラジル経済を取り巻く環境は依然として悪化傾向にあるものの、ペトロブラスに関連する汚職事件の捜査がルセフ大統領に迫りつつあるとの報道を好感し、レアル相場は堅調な動きを維持している。

ブラジル中銀のLopes副総裁は22日に開催された投資家向け会合において、「インフレ率が高水準に留まっていることから、中銀は利下げを検討していない」と発言している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	2月22日	2月23日	前日比	1月22日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,9460	3,9588	+0,0128	4,0938	-0,1350
	対円	JPY	28,61	28,33	-0,28	29,01	-0,68
	対ユーロ	BRL	4,3506	4,3621	+0,0115	4,4170	-0,0549
円	対ドル	JPY	112,92	112,10	-0,8200	118,78	-6,6800
	対ユーロ	JPY	124,52	123,54	-0,98	128,26	-4,72
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	43.235	42.521	-714	38.031	+4.490
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	462,4	463,8	+1,4	483,5	-19,7
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,60	15,83	+0,23	16,76	-0,93
DI Future Apr17 (金利先物)		%	14,27	14,30	+0,03	15,12	-0,82
3 Months US Dollar Libor		%	0,625	0,625	+0,000	0,619	+0,006
CRB Index (国際商品指数)		Index	162,6	160,4	-2,2	163,8	-3,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

